

全景



JRさいたま新都心駅からつながる2Fの人工地盤上には、埼玉県の県木である“けやき”が220本植えられ、自然と親しめるひろば空間を創造。施設名称の由来となっている。

吹き抜け



1F中央に位置する休憩スペースは、3Fまでの吹き抜けとなっており、2Fの人工地盤の広場や上階から、外光が差し込む開放的な空間となっている。

女性・キッズトイレ入口



イベント時には長い待ち行列ができていたため、動線を長くし、男女前のホール部、自動扉前の空間にゆとりを持たせた。男女・多機能・キッズトイレの利用者の動線が交差しないレイアウトとした。

外観



1Fは、大規模にリニューアルされた、レストランや各店舗が並ぶ商業施設フロア。けやきひろばで日々開催するイベント時や、隣接したさいたまスーパーアリーナのコンサート開催時には、多くの人でにぎわう。

トイレ外観



改修前のトイレは、商業施設でありながら外気やほこりの入る公衆トイレであったため、扉を設け室内トイレへ変更した。

男性・多機能トイレ入口



男性トイレと多機能トイレの入口も同様に、わかりやすい色分けとピクトサインによりトイレ内の設備を確認できるよう配慮している。

女性トイレ 洗面コーナー



空間に変化を与えるよう配置されたアイランド型の洗面コーナーは手洗いから乾燥まで、ボウル内で行える自動洗面器オートボウルを採用。大便器ブースは、空き状況を見渡しやすくするため、円形に配置。

女性トイレ



イベントなどの混雑時には全面開放。イベントのない、利用者の少ない平日は、清掃を軽減するためトイレを分割している。

女性トイレ パウダーコーナー



スタンディングタイプのパウダーコーナーは、荷物配慮として、カバンやポーチを置く棚を設置。小棚の配置にも、リズムカルな空間演出がなされている。

女性トイレ ひろびろブース



着替えができるフィッティングボードやベビーチェアなど、お子様連れに配慮したひろびろブースを設置。ブース入口には設備内容がわかりやすいピクトサインを掲示。

男性トイレ



小便器をアーチ上に設置することで、用便ゾーンの通路幅を広く確保している。

男性トイレ 洗面・パウダーコーナー



男性トイレにも身づくりコーナーを設けている。洗面器は、ドライエリアのあるツインデッキカウンターに、クリーンドライを組み込んでセットしている。

男性トイレ ひろびろブース



男性トイレのブース内にも、お子様連れ配慮として、ベビーチェアを設置したひろびろブースを設けている。幼児用おまる（補助便座）も常備している。

男性トイレ 小便器コーナー



床の清掃性や節水性に優れた低リップ壁掛小便器を、アーチ形に配列し、設置している。

キッズトイレ 小便器コーナー



楽しく演出された空間に、つかまりやすいグリップ付き幼児用小便器が設置されている。

キッズトイレ 調乳コーナー



調乳コーナーには、調乳用設備や流し、洗面器などを備えている。

多機能トイレ



車いす使用者やオストメイト、小さなお子様連れなど、さまざまな利用者に配慮した器具を完備している。

キッズトイレ 外観



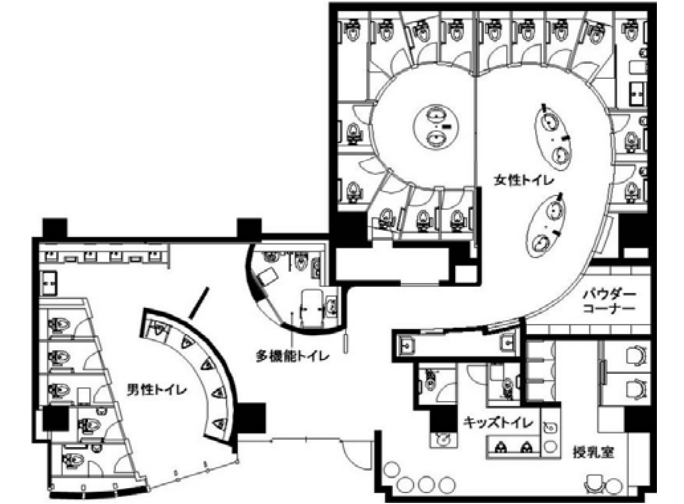
キッズトイレは、県が推進し広く設置が進む、誰でも自由におむつ替えや授乳ができるスペース「赤ちゃんの駅」にも登録。防犯性に配慮して、壁面はガラス張りのつくりで、明るく開放的な空間となっている。

キッズトイレ 授乳室



授乳室は鍵付きの個室で、椅子を用意。個室の外には、おむつ替えシートも設置している。

トイレ図面



キッズトイレ 洗面コーナー



周辺の幼児施設がけやきひろばを利用する際や、幼児対象のイベントの開催時など、多くのお子様を訪れる機会が多い。機能分散をはかるために、キッズトイレを設けた。

キッズトイレ 大便器ブース



保護者がトイレブースの外から見守りができるように、低めの壁で仕切られている。手すりや着替えのためのフィッティングボードも設置している。

建築概要

名 称	けやきひろば
所 在 地	埼玉県さいたま市中央区新都心10番地
施 主	埼玉県
設 計	株式会社久米設計 有限会社設計事務所ゴンドラ (基本設計・実施設計・管理監修)
施 工	奇居建設株式会社
竣 工 年 月	(改修)2016年8月

水まわりの特長

<施設の概要>
「けやきひろば」は、さいたまスーパーアリーナに隣接する広場・商業施設。ひろばで日々開催されるイベントや、スーパーアリーナでのコンサート・イベント開催時には、多くの人でにぎわう。地下1F、地上2F構造（一部3F）で、地階は駐車場、1Fと3Fはレストラン・店舗施設、2Fは人工地盤広場となっており、県木のけやきが植えられ、都会のオアシスとして新しい自然の空間を創造。JRさいたま新都心駅や北与野駅、さいたまスーパーアリーナへの通路として歩行者回廊でつながっている。築15年を迎え、2020年東京オリンピックの会場に決定した、スーパーアリーナの改修にあわせて、同施設も1Fレストランと各店舗の大規模改修を実施した。

<トイレの特長>
1Fの商業施設トイレをすべて洋式トイレに改修し、スーパーアリーナのイベント開催時の混雑緩和を図るため器具数を増設。コンサート利用客には女性が多いことから、特に女性に配慮したトイレを目指した。コンサート時等で混雑したトイレを待つ人々が、いかに快適に待っていたただけるか、利用者へのサービスがテーマとなった。パウダーコーナーほか、キッズトイレや授乳室を設け、さらに女性および男性トイレ内にも、それぞれベビーチェアやフィッティングボードを設置したひろびろブースを設け、お子様連れ配慮も充実させている。